

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2022年8月23日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	砺波工業株式会社
所在地	富山県砺波市中央町1番8号
代表者役職・氏名	代表取締役社長 上田 信和
担当者連絡先	藪下 仁 電話：0763-32-3105 090-6813-4355 メール：yabushita@tonamikogyo.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.tonamikogyo.co.jp/




2. 港湾関係企業等としての事業の概要


















<p>弊社は昭和19年創業の総合建設会社であり、富山県内を中心に工事を行っています。 港湾事業においては、富山県港湾の岸壁等の埠頭新築・改築を行ってきました。</p>

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	LED ライトの導入、太陽光パネル付きのコンテナハウスの活用	LED ライト導入；現状3拠点⇒全拠点 太陽光パネル付きコンテナハウス；現状年間平均3現場⇒6現場
✓環境 ✓社会 ✓経済	必要な人材の確保、生産性の向上、効率化等による過重労働時間の削減	職員平均超勤時間；現状過去5年平均約1500時間/月⇒1000時間/月
□環境 ✓社会 ✓経済	女性の働きやすい職場環境づくり、高齢者や障がい者の雇用	女性技術者；現状3名⇒6名 定年延長；現状60歳⇒61歳以上 (定年後の嘱託制度；現状整備出来ている)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・差別がないことを確認している。障がい者を雇用し、社屋には手摺を設置するなどして支援を行っている。男性にも育休の取得実績があり、職場復帰している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・社内ホームページにハラスメントの基礎知識や男女別の相談先を掲載している。毎月外部カウンセラーによるメンタルヘルスクアを継続的に実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・毎月の安全衛生委員会で過重労働者について継続的に話し合わせ、令和4年度の安全衛生目標には、前年の課題となった過重労働削減を設定した。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・社員に外国人労働者はいない。下請協力会社の外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・2009年9月に県内企業で初めて、建設業労働安全衛生マネジメントシステム(COHSMS)の認証を取得し、継続的に改善を図りながら、現在も運用している。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・毎年ストレスチェックを実施し、集団分析も行っている。メンター制度を導入し、メンターには毎月手当も支給し、若手社員の離職防止に努めている。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・積極的に女性技術者を雇用し、現場に配置する際は、女性用トイレや更衣室を設置している。障がい者を雇用する社屋には手摺を設置した。定年後の嘱託制度を整備している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・新入社員は入社時に1ヶ月以上社外での研修も行い、その間に資格の取得も行っている。毎年1級土木施工管理技士全員がCPDS20ユニットを取得している。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・定期健康診断の他、40歳以上の人間ドックについても支援(50歳以上は脳・肺ドックも)している。			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・マニフェストを発行し、産業廃棄物の適正処理を確認している。ゴミの分別を行っている。構造物の高品質(長持ち)化を図っている。										11.6	12.4 12.5	14.1					
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・各拠点のエネルギー消費量(電気・紙・印刷・ガソリン等)を毎年継続的に把握し、削減に努めている。							7.3				13						
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・電気使用量を把握し、削減に努めている。本社では、デマンドモニターを設置し、CO2排出量等の監視も行っている。							7.2 7.3				12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・各作業所で化学物質のSDS(安全データシート)を備え付け、化学物質においてもリスクアセスメントを実施している。			3.9			6.3				11.6	12.4						

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・ 濁水処理を行うなど環境汚染とならないよう、排水等に配慮している。ごみの分別や産業廃棄物排出量を管理し、抑制に努めている。						6.6										15	
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・ 各拠点の水道使用量を把握し、全社的に節水に努めている。本社屋には屋上に高架水槽を設け、通常時はトイレの水などに利用し、災害時にも備えている。						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ ISO14001を2005年2月に取得し、継続的に改善を図りながら、現在も運用している。			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・ 2021年10月に富山県SDGS宣言を行い、自社のホームページにも掲載し、環境方針等とともに、社内外に開示している。										12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・ 現場で使用するコンテナハウスに太陽パネルを設置し、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。							7.2				13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・ 天然資源の無駄遣いとならない様、余分な発注を避ける為、小分けに発注するなどの配慮をしている。										12.2	13	14	15				
21	製品・サービス 【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・ ISO9001を1999年6月に取得し、継続的に改善しながら、現在も運用している。			3.9							12.4							
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ ISO9001を1999年6月に取得し、継続的に改善しながら、現在も運用している。会社の品質方針及び各部の品質目標を設定・管理している。									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・ 二重折板屋根の設計提案等を行い、断熱効果による省エネルギー化等に取り組んでいる。						6				12	13	14	15				
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・ 大規模災害時に本社屋の一部を地域の方々に提供する旨の協定を2019年7月に砺波市と締結し、定期的に地域の方々と合同の防災訓練を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	社会貢献・地域貢献 【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・ 地域建設企業として地域の安全を守る為にも、災害時に重要業務を継続(早期復旧)させる目的で、2017年10月にBCP(事業継続計画)を策定導入した。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・ 2019年12月に地域の方を招いて、チャリティJAZZコンサートを開催し、その収益金の一部を、防災に役立てて頂く目的で、砺波市に寄附した。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	・ 工事看板や木造建築物に富山県内産木材を使用している。									8	9		11	12	13			

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・経営理念は、ホームページで社内外に発信している。各部署においても、掲示して共有している。								8	9							17	
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・各部署から定期的に提出される法規制遵守記録(ISO書式)により、確認している。毎年継続的に、内部監査も実施している。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・安全品質環境課を設置し、緊急時等の担当者や連絡体制を整備し、BCP(事業継続計画)においても体制等を明確化している。																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	・ISOの書式を用いて、各部署の内部外部の課題を抽出し、課題の解決に向けて、適切に対応している。																16 17	
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・ISOやCOHSMS(建設業労働安全衛生マネジメントシステム)において、リスクを特定・評価し、低減を図っている。																16	
33	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・自社ホームページにもCSR欄を設け、社内外に取り組み内容等を発信している。																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・COHSMSにおいて、安全マニュアル・要領・管理規定の整備をしている。2017年10月にBCP(事業継続計画)を策定導入し、2018年7月にはレジリエンス認証を取得した。										9	11	13.1				16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・会社の持続的発展を図り、社会の繁栄に貢献する為、事業承継に関する検討・対策を行っている。									8	9						17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
安心・安全・エネルギー負荷の少ない構造物構築のため、品質・環境マネジメントシステムに則った継続的な取り組みをし、より良い街づくりに貢献します。	1.ISO9001、ISO14001、COHSMS等による業務マネジメントの実施 2.ICT建機の活用による業務効率化、人手不足の解決 3.BCPの策定、運用 4.レジリエンス認証取得(第6回レジリエンス・アワード優秀賞受賞)							7	8	9		11						
循環型社会の実現・ゼロエミッションの推進に向けて、事業活動から生じる環境への負荷を低減させ、且環境汚染の予防と保全を図り、地域社会及び地球環境の保全と継続的な改善に努めます。	1.ISO14001による有害化学物質等の排出量把握および削減 2.自社のエネルギー消費量、コピー用紙消費量等の把握および削減 3.LEDライトの導入(本社、支店)、太陽光パネル付コンテナの利用(現場事務所) 4.分別、リサイクル、廃棄物の削減や適正処理の実施						6	7			11	12	13					
社員一人一人の個性を尊重し、心身ともに健康で公私にわたり充実した職場環境づくりを実現します。	1.全社員を対象とした外部カウンセラーによるメンタルヘルスクアの実施、メンター制度やコミュニケーション助成金制度の導入 2.女性の働きやすい環境づくり、高齢者や障害者の雇用 3.ブライト500、全国土木「健康企業宣言」の継続 4.ワーク・ライフ・バランスの推進			3	4	5			8	9	10							
地域の皆様に喜んでいただける各種イベントの開催や災害時の避難場所の提供(本社社屋)、地産地消の推進によって、地域社会に貢献します。	1.本社屋を利用したイベント開催(セミナー、チャリティーコンサート等) 2.自治会との防災訓練実施、砺波市との災害時の避難所提供に関する協定締結 3.地元イベントへの積極的な参加や、地元団体への協賛 4.地元企業への優先的な発注、地元製品の優先的な購入			3						9		11					16	17

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 富山県砺波市中央町1番8号

名称： 砺波工業株式会社

代表者： 代表取締役社長 上田 信和

登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 □社会 ✓経済	LEDライトの導入、太陽光パネル付きのコンテナハウスの活用	① LEDライト導入；現状3拠点⇒全拠点 ② 太陽光パネル付きコンテナハウス；現状年間平均3現場⇒6現場	① 現状変更なし ② 太陽光パネル付きコンテナハウス；今年度4現場
✓環境 ✓社会 ✓経済	必要な人材の確保、生産性の向上、効率化等による過重労働時間の削減	職員平均超勤時間；現状過去5年平均約1500時間/月⇒1000時間/月	令和3年度より4年度、4年度より5年度と減少傾向にある
□環境 ✓社会 ✓経済	女性の働きやすい職場環境づくり、高齢者や障がい者の雇用	① 女性技術者；現状3名⇒6名 ② 定年延長；現状60歳⇒61歳以上（定年後の嘱託制度；現状整備出来ている）	① 女性技術者；昨年3名⇒7名 ② 現状変更なし

(様式第4号)

令和6年8月21日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 富山県砺波市中央町1番8号

名称： 砺波工業株式会社

代表者： 代表取締役社長 上田 信和

登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 □社会 ✓経済	LEDライトの導入、太陽光パネル付きのコンテナハウスの活用	① LEDライト導入：現状3拠点⇒全拠点 太陽光パネル付きコンテナハウス：現状年間平均3現場⇒6現場	① 2024年9～10月頃に全4拠点LED化 太陽光パネル付きコンテナハウス使用：今年度4現場
✓環境 ✓社会 ✓経済	必要な人材の確保、生産性の向上、効率化等による過重労働時間の削減	職員平均超勤時間：現状過去5年平均約1500時間/月⇒1000時間/月	令和3年度より4年度、4年度（月平均1565時間）より5年度（月平均1078時間）、5年度より6年度と減少傾向にある
□環境 ✓社会 ✓経済	女性の働きやすい職場環境づくり、高齢者や障がい者の雇用	① 女性技術者：現状3名⇒6名 ② 定年延長：現状60歳⇒61歳以上 （定年後の嘱託制度は、現状整備出来ている）	① 女性技術者；7名 ② 現状変更なし （97名中60歳以上13名）